

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を短くまとめて紹介します



北京事務所

北京市で国際冬季運動博覧会が開催されました

2021年9月2日から7日まで、北京市において「国際冬季運動博覧会（World Winter Sports EXPO、以下「WWSE」）」が開催されました。2022年の北京冬季五輪に向けて開催されたWWSEは、中国で唯一のウィンタースポーツに特化した博覧会で、今回で6回目の開催となります。中国国内外のスノーリゾートのほか、ゴンドラや人工降雪機などの設備、スキーウェアやスキー板といった各種ウィンタースポーツに関連した事業者などが出展しました。冬季スポーツツーリズムをテーマとしたJNTO北京事務所のブースでは、14自治体*から提供された動画の上映、パンフレット配布、浴衣の着付け体験などが行われたほか、ブース内に設置されたステージでは自治体によるクイズ大会なども行われ、多くの来場者（ブース来場者数：2万3,714人）で賑わいました。

クレア北京事務所からは鳥取県から活動支援の依頼を受けた職員が参加し、来場者へのインタビューなどを行いました。鳥取県は県内全域が豪雪地帯に指定されており、県西部には日本海を眺めながら滑ることのできる大山国際スキー場があります。動画を見た来場者からは、「雪が降るイメージはなかったが、ロケーションがよく、是非行ってみたい。」「大山は知っていたがスキーができることは知らなかった。中国語のサービスがあれば行ってみたい。」などのコメントがあり、観光誘客への手ごたえが感じられました。

クレア北京事務所では、今後も自治体の観光PRを実施・支援するなど、自治体の中国での活動を幅広く支援してまいります。

*青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、群馬県、東京都、新潟県、石川県、長野県、鳥取県、福岡県、宮崎県、札幌市



動画上映の様子（鳥取県）



福島県によるステージイベントの様子



パリ事務所

フランスにて日本酒、本格焼酎・泡盛コンクール「Kura Master2021」が開催

9月20日、日本酒のコンクールである「Kura Master」の表彰イベントがパリで開催されました。Kura Masterは、フランスの地でフランス人のために行う日本酒コンクールとして2017年から開催され、第5回目となる今年からは本格焼酎・泡盛コンクールが新設されました。このコンクールでは、フランスの歴史的食文化でもある「食と飲み物の相性」に重点がおかれ、フランスの一流ソムリエやパーマナらが、ブラインドでテイasting審査を行います。

今年の日本酒コンクールには、過去最多の312蔵から960銘柄のエントリーがありました。審査の結果、小澤酒造株式会社（東京都）「澤乃井 純米大吟醸」が最高賞の「プレジデント賞」に選出され、「表現豊かな香りに圧倒された」、「口に含むと柔らかな触感が響き合い、最後まで長い余韻がある」といった評価コメントが審査委員長より寄せられました。

また、本格焼酎・泡盛コンクールには75蔵から164銘柄が出品され、知覧醸造株式会社（鹿児島県）「知覧Tea酎」が最高賞に選ばれました。「知覧Tea酎」には、「大変美しい複雑感のある香りに驚いた」、「ソーダで割っても特徴を失うことなく、さらに風味が広がった」との評価コメントが発表されました。

Kura Masterをはじめ日本酒をPRするさまざまな取り組みにより、欧州でも日本酒が広く受け入れられていくと感じます。日本のお酒、さらには日本食や食文化が、今後欧州でますます広まることが期待されます。



日本酒コンクールでプレジデント賞に選ばれた小澤酒造株式会社（東京都）の「澤乃井純米大吟醸」。



「知覧Tea酎」（知覧醸造株式会社、鹿児島県）のプレジデント賞受賞を伊原駐仏日本大使（中央左）らが表彰。



シドニー事務所

大和高田市の姉妹都市であるリズモー市で開催されたランタンパレードに参加！

6月19日、豪州ニューサウスウェールズ州のリズモー市でランタンパレードが開催されました。

2018年、奈良県大和高田市とリズモー市が両国間の初の姉妹都市として提携55周年を迎え、大和高田市のマスコットキャラクターである「みくちゃん」のランタンが制作され、大和高田市長らの手によりランタンパレードに初めて登場しました。そして、今年、クレアシドニー事務所職員が、リズモー市や在シドニー日本国総領事館の方々とともに「みくちゃん」ランタンを担ぎパレードに参加しました。

また、その前日、クレアシドニー事務所職員は、サザンクロス大学のジャパンオーストラリアセンターおよびリズモー市役所を訪問しました。そして、大和高田市とリズモー市の姉妹都市提携締結、奈良市とキャンベラ市の姉妹都市提携締結に尽力するなどして第二次世界大戦後の日豪間の関係の改善に注力した、リズモー市出身のグリーン神父兄弟についてのお話を、関係者の方々からうかがうことができました。

クレアシドニー事務所は、引き続き、日豪間の姉妹都市交流を積極的に支援していきます。



「みくちゃん」ランタンを担ぐ在シドニー日本国総領事館職員とクレアシドニー事務所職員ら



ニューヨーク事務所

全米市長会年次総会への参加

第89回全米市長会年次総会が8月24日から31日にかけて、2020年に引き続きオンラインで開催されました。子ども政策や住宅政策など全部で10の常任委員会が設置されており、米国の都市が直面している重要な課題について議論し、決議案として取りまとめました。最終日には、各常任委員会代表者による会議が開催され、各委員会の決議案を検討し、全米市長会として採択しました。採択された決議には、子どもや若者に対する学校でのメンタルヘルスサポートやホームレス問題の解決に向けた取り組みなど多様な内容が含まれます。

また、一部の委員会ではプレゼンテーションも行われ、子ども・保健・社会福祉委員会では、新型コロナウイルスの影響により保育プログラムにおける人員が不足しており、教室をフル稼働することができない状況について説明がありました。環境に関する委員会では、パリ協定の目標に向けて、米国内88都市、世界700以上の都市のほか、企業、投資家、地域などが参加する「Race to Zero」キャンペーンについての説明がありました。



第89回全米市長会年次総会



最終日、各常任委員会代表者が集い、決議案を協議する様子



シンガポール事務所

栃木県小山市のオンラインイベントでシンガポールの様子を中継

クレアシンガポール事務所では、自治体の海外での活動やイベント実施の支援を行っております。9月20日(月)は、栃木県小山市からの依頼を受け、コロナ禍での市民向け国際イベントとして市が主催した「親子で学ぼう!! シンガポールオンラインツアー」の実施にあたり、現地からの中継という形で支援を行いました。

小山市職員によるシンガポールの概要や風土についての説明の後、シンガポール側からはクレア職員1名と現地協力者1名が、マーライオン公園や、チャイナタウン、ガーデンズバイザベイといったスポットから中継を行い、小学生とその保護者を対象に現地の様子を紹介しました。

当日は15組36名の親子がそれぞれの自宅からオンラインで参加し、子どもたちから積極的な質問が寄せられる場面も見られました。

コロナ禍において物理的な移動が制限される中、オンラインを活用してリアルタイムな現地との交流を行うことで、子どもたちの海外への興味関心を高めることのできるイベントとなりました。



オンラインツアーの様子①



オンラインツアーの様子②



ソウル事務所

「2021 釜山国際観光博覧会」へ出展し、日本における各地域の魅力を発信

9月16日から19日までの4日間、クレアソウル事務所では釜山広域市・BEXCOで開催された「2021 釜山国際観光博覧会」に出展しました。

この博覧会は「韓国へのインバウンド」と「韓国からのアウトバウンド」の活性化を図るため、韓国国際観光展（KOTFA）によって開催される大規模な観光イベントで、韓国国内の地方自治体をはじめ、在韓各国大使館や関連企業のブースを含めると、延べ30カ国・200団体が出展しました。

クレアソウル事務所では、観光パンフレットの配布やPR動画を放映したほか、日本酒の抽選イベントを実施し、日本各地のさまざまな魅力を積極的に発信しました。来場者からは「海外との往来が制限されている中、情報収集や抽選イベントを通して日本の雰囲気や魅力を少しでも味わえてよかった」と感想を述べられるなど、日本への旅行に高い関心をお持ちいただいていることを実感することができました。

クレアソウル事務所では、引き続き、韓国で開催される観光イベントなどに出席し、日本における各地域の魅力を現地の方々へ直接お伝えしていきます。



博覧会閉会式の様子



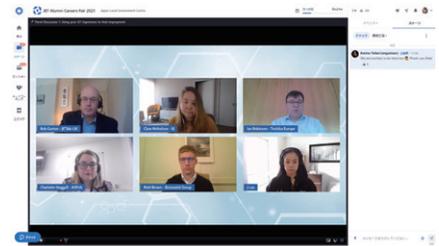
日本酒の抽選イベントを案内する様子



ロンドン事務所

英国 JET 経験者向けキャリアフェアを開催！

クレアロンドン事務所では、2021年9月29日に、帰国したJET経験者を対象にした「キャリアフェア」を、在英国日本国大使館と共同で開催しました。今回のキャリアフェアも2020年度に引き続いてオンラインでの開催としたところ、帰国予定のJET参加者や既に帰国しているJET経験者など、これまでで最も多い合計178人が来場する盛況ぶりとなりました。今回のフェアでは、林肇大使による開会挨拶を皮切りに、JETプログラム参加経験を就職活動に活かすことをテーマにしたパネルディスカッションや帰国後のキャリア形成に関する分科会セッションを開催したほか、英国内に事務所を持つ企業・団体による求人・求職のためのオンラインブースを開設し、参加した21社・団体の採用担当者による企業説明と面談の機会も設けました。さらに、キャリアアドバイザーによるJET参加者の履歴書（CV）の添削やアドバイスを提供する「CVクリニック」も開設し、多数の申し込みがありました。フェア全体を通じて多くの参加者が活発に情報収集やネットワーキングにいきまわらるなど、帰国後のキャリア形成に対する意欲の高さがうかがわれました。



パネルディスカッションの様子



交流親善課

国際交流支援事業の助成団体を募集しています！

クレアでは、地方自治体や地域国際化協会が主体的に行う国際交流事業のうち、交流の拡大や発展が見込まれ、地域住民などの幅広い参加が見込まれる事業に、対象経費の一部を助成しています。国際交流事業を行う団体におかれましては、ぜひ申請をご検討ください！

【対象事業】

- ・ 姉妹提携または友好提携に係る記念事業
- ・ 文化、芸術または研究に関する交流事業
- ・ 青少年交流に関する事業
- ・ 国際会議に関する事業
- ・ そのほか地域の特性を活かした交流事業

原則として、新規事業が助成の対象ですが、継続的に行われている事業であってもほかの自治体や地域国際化協会のモデルとなるような、先駆的な事業であれば対象となります。

【対象団体】

都道府県、市区町村、地域国際化協会

【助成金額】

助成対象経費の1/2以内、上限は以下の金額

海外で行う事業・・・ 500万円

国内で行う事業・・・ 300万円

【本事業の詳細】

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/page-5.html>

【お問い合わせ先】

交流支援部 交流親善課

Tel : 03-5213-1723 Mail : koushin@clair.or.jp



関係各国の外交団をはじめとする来賓の方々が出席したムゼウムオープニングセレモニーでのテープカット

「『人道の港敦賀記念年』国際文化交流事業」（福井県敦賀市／2020年度助成）

経済交流課

2022年度 助成金制度の募集を開始しました！ ～海外販路開拓・インバウンド・国際協力～

クリアでは、自治体の海外販路開拓またはインバウンド対策などの経済活動を支援する「経済活動助成事業」、先駆的な役割を果たす国際協力事業を支援する「自治体国際協力促進事業（モデル事業）」の2022年度に向けた募集を開始しました。詳しい内容やスケジュール、申請様式はクリアHPをご確認ください。また、2020年度の経済活動助成事業の活用事例を現場レポート（P26）に掲載しています。皆様からのご応募をお待ちしております。

- ・経済活動助成事業
(HP：<http://economy.clair.or.jp/activity/grant/>)
- ・自治体国際協力促進事業（モデル事業）
(HP：<http://www.clair.or.jp/j/cooperation/model/index.html>)

【募集開始時期】9月下旬

【申請期限】11月30日（火）※郵送またはメール必着

■お問い合わせ 経済交流課

Tel：03-5213-1726

Mail：（経済活動助成事業）keishin@clair.or.jp

（自治体国際協力促進事業（モデル事業））

kokukyou@clair.or.jp

事業名	経済活動助成事業	自治体国際協力促進事業（モデル事業）
対象団体	都道府県／市区町村	都道府県／市区町村／地域国際化協会／NGO
助成対象事業	海外販路開拓やインバウンド推進事業など	国際協力事業
助成額	助成対象経費の1/2以内で次の額を上限とする 1.主に海外実施事業 500万円 2.主に国内実施事業 300万円	助成対象経費の総額以内で次の額を上限とする 1.一事業につき 300万円 2.複数団体の共同事業 500万円

多文化共生課

2021年度 多文化共生の担い手連携促進研修会をオンライン開催します

多文化共生の推進に向けて、地域レベルおよび全国レベルの多文化共生関係者（以下「担い手」という）が集まり、担い手のつながり（ネットワーク構築・強化）やスキルアップを目指した研修を実施します。

2021年度は12月9日に2部に分けて行います。第1部は9時30分～12時、第2部は13時30分～16時で、いずれもオンライン開催です。

2021年度のテーマは「今後の日本語教育・教室の形」です。第1部はウェビナー形式で幅広く課題やニーズを共有することを目的に、文化庁からの施策説明、武蔵野大学の藤本かおる先生の講義「日本語教育におけるICT活用（仮題）」を予定しています。また、事例発表として長野県の「日本語交流員養成事業」や人材育成に関する取り組みと、(公財)浜松国際交流協会のオンライン日本語教室の取り組みをご紹介します。

第2部では、第1部の発表者とのグループディスカッションを通して、地域課題などをより深めていただくことを目的としています。

詳細や申請はこちらから：<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/ninaite.html>



JETプログラム事業部

さまざまな機会 で JETプログラムの紹介を行っています!!

現在クリアで活躍しているPC（プログラム・コーディネーター）が南山大学の留学生向けの授業の一部にお邪魔してJETプログラムの紹介を行いました。

3つの職種【ALT（外国語指導助手）、CIR（国際交流員）、SEA（スポーツ国際交流員）】の業務内容や自身の経験から「JETプログラム参加中のサポート体制」、「JETプログラムに参加することによって新たにできた繋がり」などJETプログラムの魅力について紹介しました。

(JETプログラムHP)

<http://jetprogramme.org/ja/>



JETプログラムの紹介を行う様子
(2021.9.30 南山大学)

市民国際プラザ

第23回自治体とNGO・NPOとの連携推進セミナー開催のご案内

市民国際プラザでは、「コロナ禍で考える国際協力と地域活性化～海外とのつながりと学び合いを活かして～」と題して上記セミナーをオンラインで開催します。ぜひご参加ください。

日時：2021年11月18日（木）14時00分～16時30分

対象：自治体、地域国際化協会・国際交流協会、NGO・NPO、そのほか関心のある方

プログラム

①基調講演（横浜国立大学 藤掛洋子氏）
②事例紹介-1（湯河原町 内藤喜文氏／野毛坂グローバル 奥井利幸氏）

事例紹介-2（熊本県立大学等 田中耕太郎氏）

③パネルディスカッション

お申込み・詳細はこちら

<http://www.plaza-clair.jp/>



申込みQRコード